

遠野文化研究センター 10周年を迎えて

Tono Culture Research Center
10th Anniversary

◇ 対談 「はじまりの『遠野物語』が甦るとき」

遠野文化研究センター 赤坂憲雄 所長 × 三浦佑之 顧問

- ◇ 語り部1,000人プロジェクト認定証交付式
- ◇ 『遠野物語』 発刊110周年記念出版について
- ◇ 「遠野文化研究センター」のこれから
- ◇ 「こども本の森 遠野」に期待すること



遠野文化研究センター
赤坂憲雄 所長

民俗学者。学習院大学教授。著書に『東北学/忘れられた東北』、『遠野/物語考』など。



遠野文化研究センター
三浦佑之 顧問

日本文学者。千葉大学名誉教授。伝承や地方の言語などを研究。著書に『口語訳古事記』など。

令和3年

3月18日(木) 18:00~20:00 (開場 17:00)

遠野市民センター大ホール

定員 / 150名 (要申し込み・先着順)

入場料 / 無料

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会場内ではマスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保などにご協力をお願いします。

※感染拡大状況によって、内容の一部変更や、入場を一部制限する場合があります。

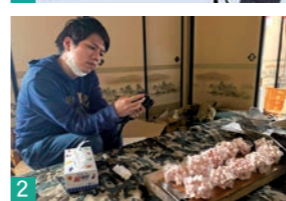
遠野暮らし&活動報告 VoL.29

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。

「遠野のことをもっと知りたい
そして、知ってもらいたい」

小田切 大輝 隊員 東京都出身・30歳(2020年11月着任)



Q 遠野に移住する前はどんなことをしていましたか?
 国立劇場と新国立劇場というところに勤めていました。歌舞伎・文楽といった伝統芸能、オペラやバレエなどの現代舞台も上演します。より多くの人に公演を観てもらえるように広報や宣伝、営業を経験し、歌舞伎の舞台制作も担当

Q 遠野に来てからどんな活動をしていますか?
 株式会社 Brew Good と株遠野ふるさと商社に所属。地域の事業者さんなどと連携し、ビールの里商品の販売・マーケティングなどに取り組んでいます。遠野産のホップをたくさんの人から興味を持つ

1_ カメラを持った僕を街で見かけるかも。おすすめの撮影スポットなど教えてください! 2_ ふるさと納税返礼品を撮影する小田切さんのところに撮影に伺うことも 3_ 映像編集にも挑戦

Q 今後の目標を教えてください
 写真だけでなく、最近は映像を撮影・編集して遠野の魅力が伝わるように画策中です! 魅力を伝えるために、遠野で暮らす皆さんの「遠野の好きなところ」をもっと知りたいです。そして、遠野を訪れる人が遠野に魅力を感じ、この街のファンになってもらえるように、皆さんと一緒に情報を発信していきたいと思っています。

てもらえるように、写真や動画を共有できる Instagram で、「tonohops」というアカウントを運営しています。遠野で盛り上がりを見せている「ビールの里」の取り組みや関連商品などを紹介しています。ぜひ、皆さんもフォローして一緒に盛り上げてください。また、遠野市のふるさと納税のポータルサイトに掲載する返礼品の写真や紹介文章を考える仕事もしています。

移住し、挑戦中!
 小田切さんのプロジェクト
 「ビールの里構想」
 (販売プロデューサー)

宮本隊員



つくる大学

宮本拓海隊員が運営に携わっている「つくる大学」は令和2年度、内閣府の関係人口創出・拡大のための提案型モデルの採択を受け、社会変化により新たに必要となった知識やスキルを互いに学ぶ場の創出に取り組んでいます。



講座やイベント開催中!
 詳しくは、つくる大学ホームページ(左記QRコード読み取り)

つくる大学運営事務局
 Mail → tsukuru-univ@nextcommons.co.jp
 HP → https://note.com/tsukuru_univ